



歌劇

よみがえる縄文の鼓動 全四幕



叙事詩「原郷創造」より(平成27年度北海道新聞文学賞作品)

イラスト
湯浅美恵

2021年

8月22日



13:00開場 16:30終演予定

14:00開演

札幌市教育文化会館大ホール

入場料 S席 8,000円(指定席) A席 6,000円(指定席) B席 4,000円(自由席)

お取り扱い 道新・教文各プレイガイド 札幌市民交流プラザチケットセンター

予約・お問い合わせ ノン事務局 ☎:080-8757-0630 ✉ info@opera-nnono.main.jp

主催 歌劇「ノン」実行委員会 共催 札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

助成 芸術文化振興基金 公益財団法人朝日新聞文化財団 公益財団法人道銀文化財団 伊藤組100年記念基金

協賛 縄文道民会議 絆メディカルシステムネットワーク エルム楽器

後援 北海道 札幌市 札幌市教育委員会 北海道新聞 札幌音楽家協議会 北海道作曲家協会 AIR-G' FM北海道 HTB北海道テレビ 札幌くらぶ
北海道EU協会 北海道日伊協会 北海道日仏協会 北海道国際音楽交流協会HIMES

あらすじ

ノンノ(花)は、海薔薇(ハマナス)の花から生まれた、不老不死の美しい乙女。言霊人(ことだまびと)としての使命にめざめ、万民の幸(さきわ)う郷(さと)を創造すべく、縄文人(びと)の群(むら)で、地・水・火・風の祖霊達の言葉を取り次ぐ。

若く逞しい若者ユンへのせつない恋心を必死に抑え、大自然の理(ことわり)にそった知恵深い生き方をひろめる。ノンノは、こうして1万年以上も続く大きな争いのない縄文世界を築きあげるが、魔の大妖怪の手先となった弟の手で深傷(ふかで)を負い、心ある縄文人の隠れ里で三千年もの長い眠りにつく。

やがて傷も癒え、めざめたノンノは、祖霊達から、巨大地震・津波の到来を告げ知らされ、隠れ里を出て21世紀人の町に入り、巨大地震・津波に備えるよう説得するが、その甲斐もなく多くの人びとが帰らぬ人となる。

町の原因事故で全員退去の夜、決心したノンノは、新しいユンに想いを寄せる新しい乙女ラーに、肉のノンノを托してユンと結婚させ、自らは霊のノンノとなって昇天し、全世界の人びとに失った言霊を取り戻すよう訴えるべく地上から姿を消していく。



原作・台本
原子 修



作曲
八木幸三



指揮
鎌倉亮太



演出
金田一仁志

出演



ノンノ
倉岡陽都美



ユン
安田哲平



ラー
増田享子



風の大祖霊
今野博之



水の大祖霊
岩村悠子



地の大祖霊
大野浩司



火の大祖霊
斉藤みゆき



母なる月
菅原弥生



父なる太陽 魔の大妖怪
葛西智一



海鶴
三輪主恭



長老
下司貴大



群人(むらびと)
温井亜衣



群人(むらびと)
水野七星



群人(むらびと)
相原智佳



考古学者
大谷太一



地震学者
延与幸恵

群舞 小泉のり子バレエスタジオ 合唱 ノンノ合唱団 縄文琴 曾山良一
管弦楽 ノンノ管弦楽団 (コンサートミストレス 山本泰子)

スタッフ

演出補 山田かおり
舞台監督 下澤 要
照明 吉田茂夫 (ライズ プランナーズユニオン)
衣裳 賀集友子 (アトリエ・カシュウ)
メイク 金子敦子 村木則江

ヘア 高橋孝子
コレベティートル 水野亜樹子 山田結花 三輪榮
マネジメント 平和ステージ・オフィス
イラスト・コーディネート 柴橋伴夫

新型コロナウイルス感染状況によっては延期・中止の可能性がございます。
体調のすぐれない方はご来場をご遠慮ください。
マスクの着用、受付での検温と手指のアルコール消毒にご協力ください。
楽屋への往来、ご面会はお断りいたします。
予めチケット半券にお名前とお電話番号のご記入をお願いいたします。
来場者や出演者、スタッフが感染症を発症した場合は、保健所などの公的機関に情報提供を行います。